



各高の開拓者たち ～活躍する各高卒業生～

第10号 平成30年 7月30日(月)

★★昭和60年度卒業生 川口晴美さんです。★★

昭和60年度卒業生の川口晴美です。卒業後は、名古屋市内の観光系専門学校に進学後、JAL グランドスタッフとして、14年間勤務いたしました。現在は、トライデント外国語・ホテル・ブライダル専門学校のエアライン学科講師として、客室乗務員、グランドスタッフを育てています。



●JAL グランドスタッフとして●

専門学校在学中、名古屋空港（小牧）の JAL グランドスタッフ 1 期生で入社しました。皆さん、空港に行かれたことはありますか？飛行機に乗る際、カウンターで席を決めたり、手荷物を預かったり、搭乗ゲートでは、お客さまをご案内したりするスタッフが、グランドスタッフと呼ばれる仕事です。飛行機に乗られる全てのお客さまのサポートをします。在職 14 年の間には、北は帯広から南は宮古島まで、また海外では、ハワイホノルル空港で、現地の新入社員の教官としても勤務しておりました。グランドスタッフの仕事は、華やかに見られがちですが、実は体力勝負です。飛行機を定刻で安全に出発させることが、最大の使命ですので、空港中を走り回ります。また、シフト勤務ですので、早番は、朝5時から、遅番は、飛行機の遅れなどで深夜におよぶこともあります。ときには、エンジントラブルで欠航になったりすることもあり、臨機応変な対応を求められます。

実にさまざまなお客さまがいらっしゃり、まさしく、空港は一期一会の場所であります。そのような中、お客さまからの感謝状をいただき、JAL 社長賞を受賞することができたのは、接客のプロフェッショナルとして、大きな自信となりました。

●トライデント外国語・ホテル・ブライダル専門学校 エアライン学科講師として●

現在は、JAL グランドスタッフの経験を活かし、トライデントのエアライン学科の講師として、これまで、数多くの客室乗務員やグランドスタッフを全国に送り出して参りまし

た。その中には、今年3月にトライデントを卒業したばかりの各務原高校生もいます。現在は、関西国際空港で ANA のグランドスタッフとして活躍しています。航空業界は、いつの時代も競争率が高く、難関にちがいません。しかし、あきらめず、努力を積み重ねれば、夢は必ず叶うと感じています。



●高校時代●

硬式テニス部に所属しており、お洒落とは全く無縁の真っ黒く日焼けした地味な高校生でした。勉強も芳しくなく、受けた大学は全滅。卒業後の進路も決まっていなかったのは私くらいだったと思います。周りの友人たちは、ほとんど大学進学でした。大学受験失敗という、挫折でした。

●専門学校時代●

高校進学時もそうでしたが、何になりたいかという目的もないまま、とりあえず、入学したのが、観光系の専門学校でした。グランドスタッフになろうと思ったきっかけは、初めて成田空港を訪れ、多くの外国の飛行機を見たことです。それ以来、空港で働きたいと思うようになりました。

●中学生の皆さんへ●

高校選択を迷っている方にお勧めしたいのは、高校見学いわゆるオープンキャンパスがあるので、これから夏休みを利用して、実際に行ってみるのがいいと思います。授業風景、学校の雰囲気、学生の様子など、肌で感じてみてはいかがでしょうか。あとは、実際に行っている人に話を聞いてみるのもひとつの手かと思います。

●在校生の皆さんへ●

仕事柄、海外に行く機会も多くあり、34か国、行ってきました。海外に行くことは、日本を知るきっかけにもなります。そして自分自身を知るきっかけにもなるのではないかと思います。

現在は、LCC（格安航空会社）もセントレアからたくさんでており、バスの間隔で飛行機に乗ることができる時代になりました。若い世代の海外離れが叫ばれて久しくなります。ぜひ、どんどん外に出てみてください。

私は既に人生折り返し地点を過ぎました。人生のゴールもみえてきました。まだまだやりたいことはたくさんあります。

私にとってグランドスタッフは天職でした。仕事が自分を変えてくれました。人は変わるものです。

「しない後悔より、する後悔。」

悩んでいるのなら、やってみてください。やらないで後悔するよりはずっといいと思います。失敗してもよし。挫折してもよし。皆さんには、たくさんの人生という時間があるのですから。

